

ミニ電子展示「本の万華鏡」に 「あれもこれも和菓子」を追加しました

国立国会図書館ホームページでは、様々なテーマを当館の蔵書を使って紹介するミニ電子展示「本の万華鏡」を公開しています。6月16日（金）から、第25回「あれもこれも和菓子」を公開しました。

四季折々の風情を表現した意匠や味わいで、私たちを楽しませてくれる和菓子ですが、文献をひもとけば、歴史や文化にまつわる興味深いエピソードがたくさんあります。本展示には、和菓子の成り立ちや社会風俗との関わり、和菓子を題材にした文芸作品などをあれもこれもと詰め込みました。

当館の資料を通して、和菓子の世界をご堪能ください。

- 取り上げた資料の一部（下の URL から詳細な画像、資料の中身をご覧ください。）



▲ 14世紀中頃の歌会の様子を描いた資料。廊下を歩く僧が、茶菓子とされるものを捧げ持つ(出典：慈俊『慕婦絵々詞』<請求記号 ん-169>)



▲ 登場人物全員に干菓子の名が付けられた黄表紙(出典：鳥居清長『名代干菓子山殿 3巻』<請求記号 208-792>)



本の万華鏡

<http://www.ndl.go.jp/kaleido/>

- 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103 (直通)